

第72期 株主通信

第3四半期連結累計期間(2018年4月1日~2018年12月31日)



Think Automation and beyond...

Top Message

株主の皆さまへ

当第3四半期連結累計期間の売上高は、設備投資需要や生産設備の自動化ニーズの影響に加え、新たにグループ化した企業の売上寄与もあり、HMIソリューション製品や安全・防爆ソリューション製品、オートメーション製品などの売上が堅調に推移し、475億8千2百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

営業利益は48億3千2百万円(前年同期比1.3%増)となり、四半期純利益は事業整理損の計上などにより、33億2千1百万円(前年同期比23.0%減)となりました。

世界経済は米中貿易摩擦の深刻化などにより不透明感が増していますが、通期計画を達成できるよう、全社一丸となって取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

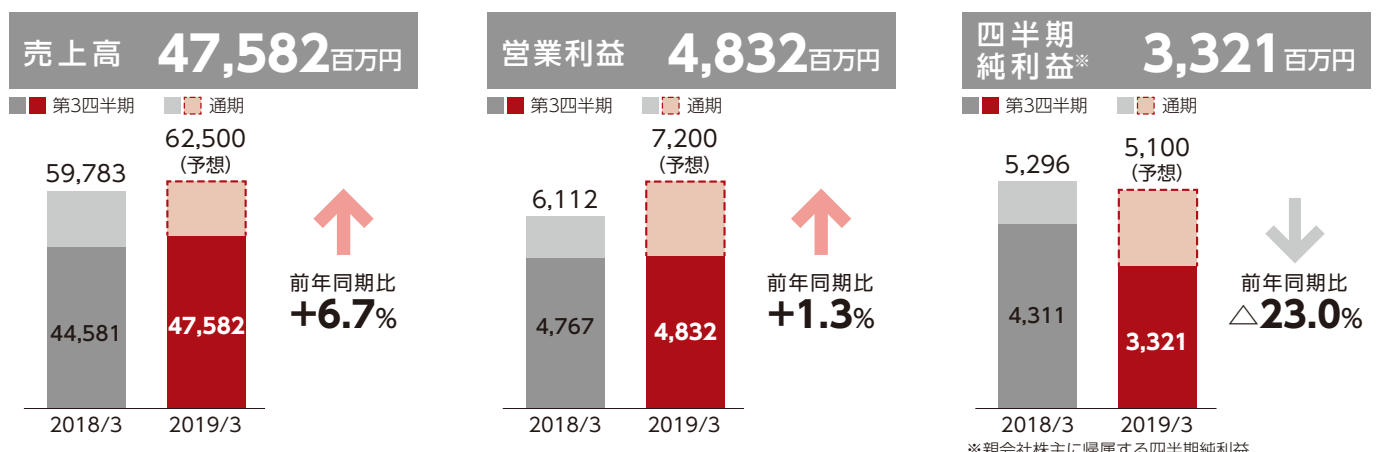
代表取締役会長兼社長

船木俊之



財務ハイライト

売上高と営業利益は増収増益となりました。



製品別売上高

HMIソリューション

- ・制御用操作スイッチ
- ・ジョイスティック
- ・表示灯



22,566百万円

前年同期比
+7.2%



盤内機器ソリューション

- ・スイッチング電源/制御用リレー/端子台
などの制御用盤内機器
- ・産業用LED照明



8,794百万円

前年同期比
+4.0%



オートメーションソリューション

- ・プログラマブルコントローラ
- ・プログラマブル表示器
- ・自動認識機器



6,461百万円

前年同期比
+11.2%



安全・防爆ソリューション

- ・安全関連機器
- ・防爆関連機器



5,320百万円

前年同期比
+13.4%



システム

- ・セキュリティシステム
- ・各種システム



2,358百万円

前年同期比
+5.7%



その他

- ・再生可能エネルギー事業
- ・次世代農業ソリューション
- ・協調安全ロボットシステム
- ・ウルトラファインバブル発生装置



2,080百万円

前年同期比
△11.4%



地域別売上高

日本

22,076百万円

前年同期比
+5.8%



米州

7,454百万円

前年同期比
+8.4%



EMEA (欧州、中東、アフリカ)

8,403百万円

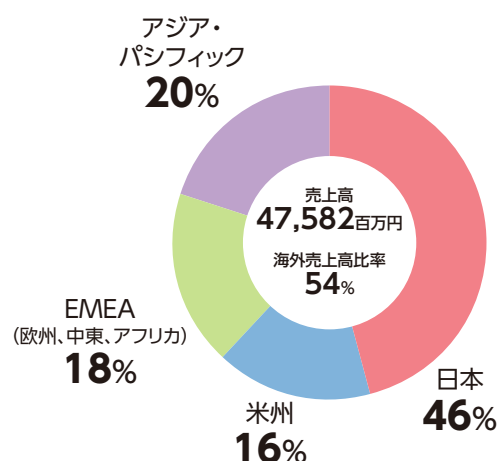
前年同期比
+14.4%



アジア・パシフィック

9,647百万円

前年同期比
+1.6%



業績ハイライト

日本においては、環境関連事業が減少したものの、新たにグループ化したウェルキャットや東京センサなどの業績が寄与したことに加え、主力製品である制御用操作スイッチなどのHMIソリューション製品や、安全・防爆ソリューション製品、オートメーションソリューション製品の売上が堅調に推移しました。

海外においては、アジア・パシフィックでは中国市場の成長が鈍化傾向にあるものの、引き続き売上は増加しています。また、APEMの売上が好調なことから、欧州を中心とする各地域でHMIソリューション製品の売上が伸長しており、米州ではオートメーションソリューション製品の売上も増加しています。

暮らしを支える食品の物流センターに、IDECグループのウェルキャットのウェアラブルターミナルが導入されています。



株式会社シーエックスカーゴ様の尾道流通センターでは、冷凍食品の保管・配送業務を実施しており、低温の作業環境下で鮮度を保持しながら膨大な商品を素早くピッキングする必要があります。この課題を解決するため、ウェルキャットの「ウェアラブルターミナルWITシリーズ」を採用いただきました。

2017年にIDECグループとなったウェルキャットは、バーコードリーダーをはじめとする自動認識機器の豊富な製品をラインアップしています。従来の手に持つハンディターミナルの場合、利き手が使えなくなるため作業効率が落ちてしまいますが、装着型のウェアラブルターミナルの導入により、両手を使うことができ作業効率を大幅に改善いただくことができました。

これからもお客様のさまざまなニーズにお応えすることで、現場の生産性と作業効率の向上に貢献してまいります。



両手が自由に使える
ハンズフリーの
ウェアラブルターミナル



左から
(株)シーエックスカーゴ
尾道流通センター長 山口様
課長 鈴木様
(2015年導入当時)



お客様の声

両手が自由に使える「ウェアラブルターミナル」のおかげで作業がはかどっています。見やすい画面にシンプルで分かりやすい仕組みのため、指一本で簡単に操作できるので現場でも好評です。

お客様のご紹介



1991年に日本生協連の物流を担う企業として設立されて以来、現在では全国の生協店舗や宅配へ物流サービスを提供し、人々の暮らしを支えています。

IDEC グループ企業紹介

ダイバーシティ推進に取り組むとともに、 お客様満足度の向上を図っていきます。

IDECロジスティクスサービス株式会社(以下、ILS)は、製品の組み立てに加え、IDECグループの物流業務を担っています。2019年3月には、製品の組み立てを行う工場を拡張し物流センターと併設することで、納期のさらなる短縮を推進し、お客様満足度の向上を図っていきます。

また、ILSでは長年ダイバーシティの推進に取り組んでいます。社員の女性比率は70%以上となっている他、障がい者の方の採用も積極的に行っており、16名の方が活躍しています(2018年12月末現在)。2014年からは、JITCO(公益財団法人 国際研修協力機構)の外国人技能実習制度により、ベトナムやフィリピン等さまざまな国からの実習生を受け入れています。

社員の年齢・性別・国籍、そして持っておられる障がいは異なりますが、多様な人財の登用を通して、一人ひとりがそれぞれの個性を活かしながら働くことのできる職場づくりを行っています。

会社概要

会社名	IDECロジスティクスサービス株式会社
設立	1983年
資本金	100万円(2018年3月末現在)
社員数	242名(2018年12月末現在)
事業内容	制御機器の組立、貨物利用運送事業、 物流倉庫管理事業 など



本社(兵庫県)



多様な人財が活躍する職場



Topics

コーポレートガバナンス強化に向けたさまざまな活動を推進

IDECでは、経営の透明性と効率性を確保することをコーポレートガバナンスの基本と考えています。

2018年10月には、管理職を対象とした「コーポレートガバナンス・コンプライアンス講義」を実施し、具体的な対応事例を通じてコンプライアンスの重要性を再認識しました。

また、現在10名の取締役の内7名を社外取締役とすることで経営の透明性を確保していますが、社外取締役同士の機能連携によるコーポレートガバナンスのさらなる強化を図るため、「社外取締役交流会」なども開催しています。

社員やお客さまをはじめとする全てのステークホルダーから信頼される企業であり続けるため、今後もさまざまな取り組みを継続してまいります。



コーポレートガバナンスと
コンプライアンス経営に
関する講義



取締役会における監督機能の
実効性向上のポイントに
関する社外取締役交流会

Topics

優れた堅牢性と耐環境性を備えたCMOSレーザーセンサ 「SA1Q形」を新発売

2018年12月に、対象物までの距離を検出するCMOSレーザーセンサ「SA1Q形」を発売しました。

耐衝撃・耐震動性能、耐環境性に優れた距離判別センサで、自動車、半導体、工作機械、食品・包装など幅広い業界において、高精度で安定した検出を実現し、あらゆるシーンで活躍します。

また、IoTのキーテクノロジーとなるIO-Linkに対応した機種をラインアップしており、プログラマブルコントローラと接続することで、故障する前に不具合を通知する「予知保全」を実現し、機器の故障によって生じる生産ロスの削減にも貢献します。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
配当金受領株主 確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	☎ 0120-782-031 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日を除く)
公告の方法	電子公告により行います。 http://jp.idec.com/ja/aboutIDEC/ir/stockholder_info ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

●株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。

CSRページをリニューアルしました



IDECグループのCSR活動の取り組みをご紹介します。ぜひご覧ください。

<http://jp.idec.com/ja/csr>